

令和2年度 第2号 令和2年5月13日

鶴 星

阿久根市立鶴川内中学校

校 訓

協 自 自
調 律 主

スクールコンセプト

一 校 一 風

ともに**夢**と**希望**を育む鶴川内中

育てよう**花**と**心**と大きな**夢**を

校長室の窓から 「かつての“新型”，学校再々開！」

校長 中山 武広

学校便り4月号には、学校が再開されて始業式や入学式が挙行でき、無事に新年度がスタートできた喜びを記しました。その喜びもつかの間、4月23日から再び臨時休校となりました。学校教育活動を休止するという事は、誰にとっても歓迎できることではありません。特に、保護者の皆様には大きな負担をかけることとなります。しかしながら、感染症の感染拡大を防止し、子どもたちをはじめ、お互いの命と健康を守るためには、かなりの効果が期待できる方策だと考えます。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

「新型インフルエンザ」が流行したのは約10年前で、当時、私は大隅方面の中学校の教頭でした。「新型」への脅威からか、学級閉鎖の目安も旧来より厳しく示され、「学級に2人の感染者が出たら集団感染と見なし、即、学級閉鎖とする」というものだったと記憶しています。各学年7～8学級でしたが、どの学年にも学級閉鎖が続出し、それが学年閉鎖につながり、ついに休校することになりました。この措置によって校内の感染拡大はだいぶ抑止され、近隣校に飛び火することはありませんでした。また、感染発症した生徒たちをはじめそのご家族も、誰一人として重篤化しなかったのも幸いでした。ただ、終息後、もとの学校生活が戻ってきたとはいえ、学級閉鎖・学年閉鎖・休校を実施した分の授業の遅れを取り戻すのが大変で、平日に7時間授業を行ったり、冬休みを短縮して授業を実施したりしました。

このときの「学級に2人の感染者が出たら…学級閉鎖とする」という基準が、この度の新型コロナ感染防止のための休校措置の基準とならなかったことには密かに安堵しています。この基準でいけば、学級に2人目の感染者が判明するまでは通常の学校生活を継続させることとなります。新型コロナウイルスの潜伏期間は2週間に及ぶことがある上に、無症状でも感染することを考えますと、学級に2人目が発症した時点ですでに全員が感染していたということもあり得たかもしれません。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

さて、本市では5月7日から学校が再開され、本校教育活動も再スタートしました。今回の休校措置に伴って中止や延期、規模縮小となった行事等も多い中、登校してくる生徒たちの元気な様子に安心します。4月と同様、あるいはそれ以上に、学校を再開できたことを喜んでおります。

授業については、3月の臨時休校による未履修の大部分が履修済みとなりました。今回の休校による授業時数の不足分は、中止や規模縮小となった諸行事等の調整時数や年間予備時数の中から十分に充当できる見込みです。引き続き、学校内においても、3密回避、マスク着用、こまめな手洗い、手指消毒、身体的距離の確保など、感染拡大防止の徹底に努めながら、生徒一人一人の学校生活・学習活動の充実を図りたいと存じます。

行事予定

月	日	曜	5月～6月前半の主な行事
5	11	月	～15 学校集金・給食費納入期間
	18	月	生徒集会
	19	火	心臓検診・眼科検診
	25	月	全校朝会
	26	火	耳鼻科検診・内科検診 ～27 教育相談
	27	水	実力テスト1日目
	28	木	実力テスト2日目
	29	木	校内弁論大会(2・3年) 英語検定→延期 7/17 予定
	6	1	月
2		火	小中連絡会(授業参観)
3		水	グリーンタイム
5		金	高校説明会
9		火	合同計画訪問
12		金	PTA第2回役員会
13	土	地域ボランティア活動	

行事予定については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむを得ず、縮小・延期・中止する場合があります。

マチコミメールでご連絡差し上げますので、ご確認ください。

努力目標

5月 落ち着いた学校生活の環境づくりに努めよう

一事徹底

余裕をもって安全な登校を目指そう

生徒会

令和2年度 生徒目標
笑・和・輪～One Team～



新型コロナウイルスの影響により、残念ながら、例年通りの生徒総会ができず、GW明けの生徒集会で共通確認を行いました。

スローガンには、「仲のいい人だけでなく、全員が自然と話せるために、笑顔で、心をやかに、学校全員が一つのチームになって団結したい。そして、学校行事のみならず、毎日の坂道をきらきらと向日葵のような笑顔で過ごしたい。そのためには、あいさつと返事を徹底したい。」という熱い思いが込められています。生徒会長の山口新太さんを中心に、今年度もさまざまな活動が進められます。

AED 移設

プール横倉庫内に設置しております。緊急の場合はご使用ください。



4月当初に行われた安全点検にて、週休日等での外部利用団体利用における緊急時への対応を鑑みて、プール横の倉庫内に移設しました。AEDの案内表示もしております。お知りおきいただきください。

交通安全教室

自転車と いつも一緒 ヘルメット 登下校 いつもの道こそ 要注意



4月20日(月)に行われた交通安全教室では、DVD視聴とグループでの話し合い活動を踏まえ、交通安全について考えました。また、筒モータースの方々が来校され、自転車の点検も行っていただきました。

★君は、まだ「夜明け前」 臨時休校前の全体指導より

新型コロナウイルスの影響もあり、登校日が少ない今、「なんかやる気が出ない。」「このままで大丈夫かなあ。とても不安。」と思う人もいる。しかし、今、大切なのは、目一杯不安がることじゃなく、「これから始まるのだ」という背筋の伸びた前向きな姿勢をもつことだろう。

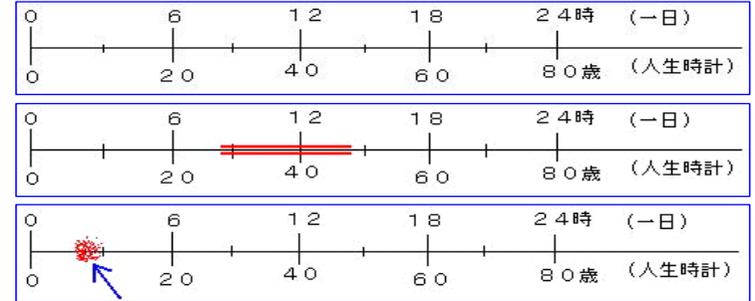
君はまだまだ「夜明け前」。

一日24時間を、人の一生80年に置き換えて考えてみよう。

数直線で自分の年齢がどのあたりにあるか探してごらん。

君は12～15歳だから3段目にある数直線上のあたりとなる。つまり、一生を1日に例えるならば、君の今は、午前3時前ぐらい。今朝、この時間に起きた人はいるだろうか。人生の中で君の今は「夜明け前」なのだ。その日、一日を過ごすために、睡眠をとり、エネルギーを蓄えている時間だろう。

各学級の目標が決まった今、連帯の意をこめて今一度、声を大にして伝えたい。君はまだ人生において「夜明け前」である。これから始まるのだ。こんな言葉がある。「みんなが知らない所でがんばった花はみんなが見たことのない美しい花が咲く」どこでがんばり、どこで咲いて、どこで認められるか。例えば勉強はどうだろう。勉強は、書いて字のごとく、強(し)いて、勉(つ)とめることが勉強。つまり、強制されながら、努力することが勉強ともいえる。しかしながら、中学生となった今、君は、強制の「強」でなく、強い意志の「強」でありたい。これも一つの知らない所でがんばれるものではないだろうか。まだ見たことのない美しい花を咲かせるために今を精一杯に生きてほしい。



未来のことは
誰もわからない
自分の人生の物語は
次になんか展開するかな
どんなに苦しく辛くても
どんなに悲しく不安でも
次のページには
笑顔と希望にあふれる
展開がまっている
ハジメとめめるのも自分
ハジメとめめるのも自分
わがなにかハジメと
自分だけどうにかできる

